

報告

一般会計歳入

86億 1,320万 1千円

※決算額は千円未満を四捨五入

12月議会定例会で、平成19年度の一般会計及び13の特別会計の歳入歳出決算が認定されました。

平成19年度を財政改革実行の初年度と位置付け、人件費や物件費などの経常的経費の徹底した削減を図るとともに、建設事業の抑制や補助金等の見直しを図るなど歳出抑制に努めました。

歳入

市町村民税が税源移譲と定率減税の廃止により約1億5千9百万円、また、地方交付税についても約5千6百万円増加しました。

一方で地方特例交付金等が2千万円余り、地方譲与税等については、所得譲与税の廃止などにより1億3千3百万円余り減少しました。

また、今庄小学校移転改築事業などの大型建設事業が平成18年度末に概ね完了したため、国庫支出金が約3億4千万円、地方債発行額も約17億2千万円減少しました。

歳出

人件費のうち職員の給料等が、職員数の計画的削減により約6千3百万円減少した反面、退職者が増えたことで、退職手当組合負担金が約1千5百万円増加しました。

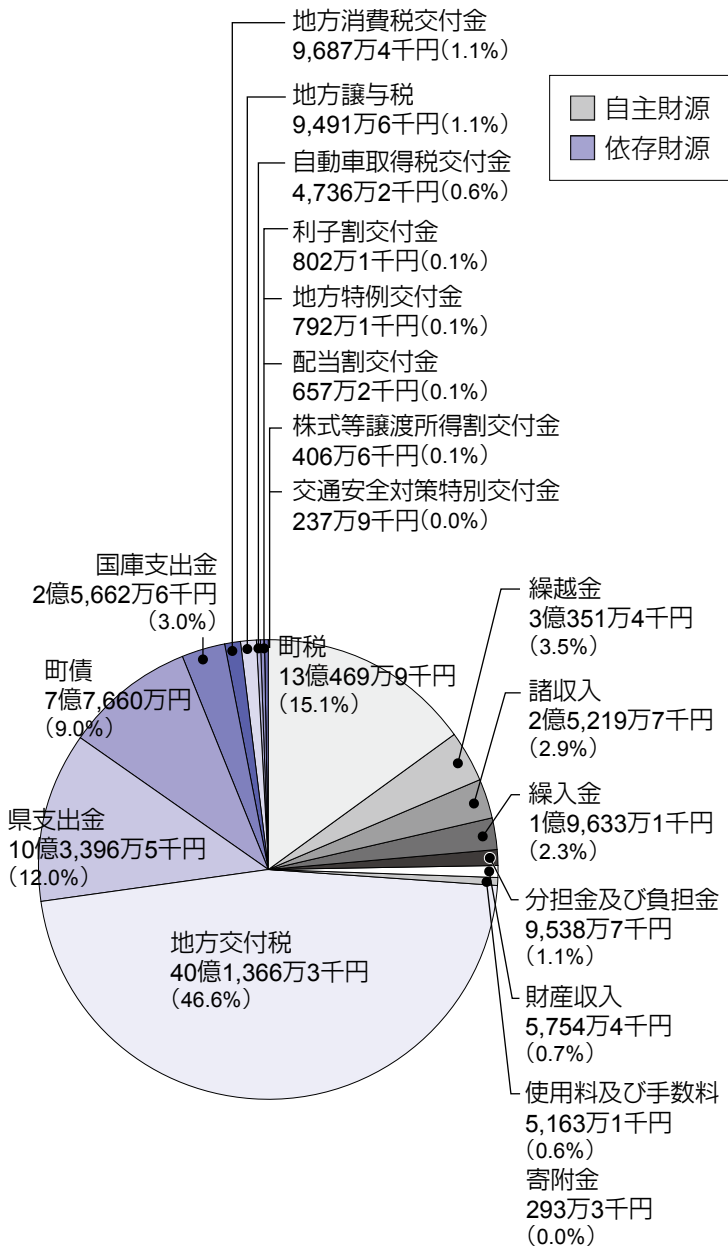
施設の光熱水費などの物件費は、一部の公共施設の管理運営を民間企業に委託したほか、事務事業の見直しなどにより、約3億1千万円減少しました。

工事などの普通建設事業費は、今庄小学校移転改築事業などの大型建設事業が平成18年度末で概ね完了したため、約25億4千3百万円減少しました。

借金の返済にあたる公債費は、合併直前直後に発行した多額の地方債の償還が平成19年度から一部始まったため、約2億円増加しました。

また、町の貯金にあたる財政調整基金に3億円余りを積み立てることができました。

その結果、平成19年度の一般会計の歳出決算額は平成18年度と比べて、約22億8千万円以上減少しましたが、その規模は、当町と類似した全国の町の水準を依然大きく上回っています。



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定されている町の財政状況を判断する財政指標については、広報10月号でお知らせしています。

町では皆さんに町の財政状況を、よりわかりやすくお知らせするため、平成23年秋までに「財務諸表4表」といわれる「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」を作成し、公表するための準備を進めています。

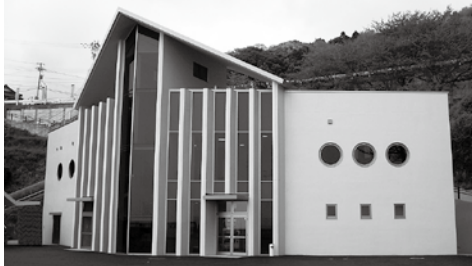
決算

【平成19年度の主な事業】

● 甲楽城海岸マリナーパーク管理棟整備事業

1億5,917万1千円

甲楽城海岸マリナーパーク（現 南越前ダイビングパーク）の中核施設となる管理棟を整備しました。



● 河野福祉センター改修事業 1億1,707万5千円

併設する河野診療所の昨年度の改修に引き続き、福祉センターのデイサービスやリハビリなどの機能拡充を図るとともに、安全に利用していただけるようバリアフリー化を図りました。



● 南条地区統合簡易水道事業 1億7,583万6千円

主に配水管工事や各世帯への給水管布設を施工し、平成14年度に着手した「南条地区統合簡易水道事業」が完了しました。

● 今庄小学校外溝工事 8,563万6千円

平成14年度に着手した「今庄小学校移転改築事業」の最終年度となり、植栽をはじめ小学校の周辺環境を整備しました。

● 町道前田道線道路改良事業 7,045万9千円

平成17年度に着手した「JR今庄駅周辺整備事業」の中核事業で、道路拡幅による安全性の確保と住民利用駐車場の整備によって、駅周辺の利便性の向上を図りました。

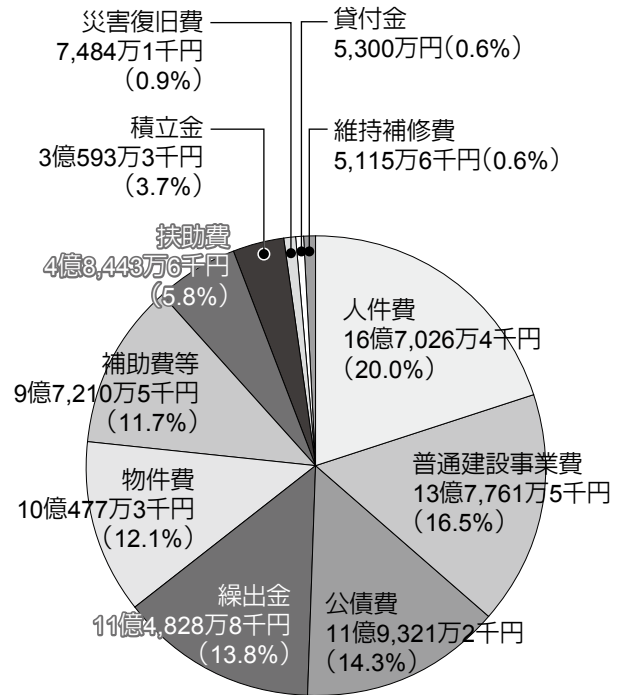
特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	12億1,716万0千円	11億7,263万1千円
国民健康保険今庄診療所	3億9,287万5千円	3億8,417万7千円
河野診療所	9,203万1千円	9,140万2千円
簡易水道	5億1,257万2千円	5億6,801万1千円
個別排水処理施設	1,125万2千円	1,103万2千円
農業者労働災害共済	1,482万7千円	94万4千円
老人保健	16億1,902万1千円	16億1,404万7千円
農業集落排水	5億4,927万4千円	5億4,727万4千円
老人保健施設	1億6,333万3千円	1億6,695万0千円
介護保険	11億2,955万2千円	11億6,907万2千円
ケーブルテレビ	1億3,834万6千円	1億3,217万8千円
下水道	3億9,597万6千円	3億9,581万6千円
世継基金運用	560万0千円	267万0千円

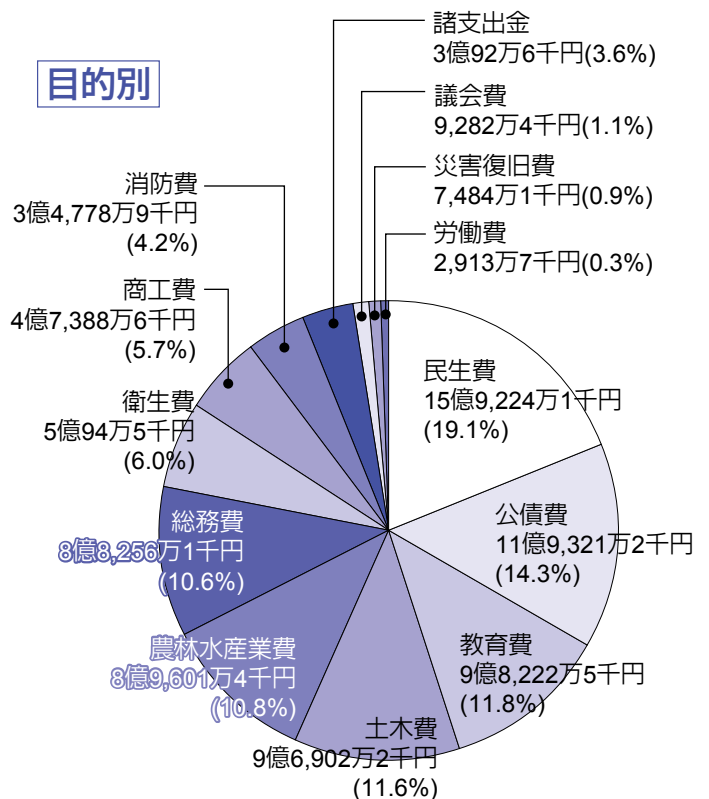
一般会計歳出

83億3,562万3千円

性質別



目的別



南越前家の家計簿

19年度のがが家の家計です。
18年度と比べてみました。
by 愛子



家族構成《6人家族》

南越前 豊 (本人・会社員)
愛子 (妻・主婦)
蓮 (長男・大学生)
海 (長女・小学生)
未来 (次女・幼稚園)
里子 (祖母)

町の普通会計（一般会計ほか4つの特別会計を合せたもの）の財政状況を一般家庭の家計にたとえ、平成18年度と平成19年度を比較してみました。

町と一般家庭では、金額の規模や使い道が大きく異なり、単純な比較方法では表せないものもありますが、ここでは各年度の住民一人当たり決算額を算出し、一般家庭を6人家族と設定して換算しました。

平成18年度…決算額 110億1,945万円 ÷ 人口 12,642人 × 6人家族 = 523万円

平成19年度…決算額 85億4,366万円 ÷ 人口 12,462人 × 6人家族 = 411万3千円 (人口はそれぞれ4月1日現在)

収入

毎年、入ることが決まっている収入 284万8千円

	18年度	19年度	増減
給料（地方税、地方交付税等）	278万円	284万8千円	6万8千円
年金・児童手当・医療費助成金等（国県補助金）	78万1千円	62万6千円	-15万5千円
定期預金の利息等（財産収入）	5万円	3万円	-2万円
定期預金の解約（繰入金）	20万8千円	9万4千円	-11万4千円
予定外の収入（諸収入・繰越金等）	22万2千円	13万8千円	-8万4千円
ローンの借入（町債）	118万9千円	37万7千円	-81万2千円
合計	523万円	411万3千円	-111万7千円
預貯金残高（財政調整基金・減債基金）	41万円	56万円	15万円

支出

毎年、支出することが決まっている経費 272万8千円

	18年度	19年度	増減
食費・日用品費等（人件費）	80万8千円	83万8千円	3万円
光熱水費・電話代等（物件費）	67万6千円	53万7千円	-13万9千円
医療費（扶助費）	22万3千円	23万3千円	1万円
ローンの返済（公債費）	47万3千円	57万6千円	10万3千円
長男への仕送り（繰出金）	55万7千円	54万4千円	-1万3千円
車等の修理代（維持補修費）	1万9千円	2万5千円	6千円
お小遣い・区費等（補助費等）	51万円	47万2千円	-3万8千円
住宅の増改築・大型家具等の購入（普通建設事業）	186万7千円	66万9千円	-119万8千円
台風で壊れた車庫の緊急修繕（災害復旧費）	2万4千円	3万6千円	1万2千円
預金（積立金）	4万8千円	15万8千円	11万円
親戚に貸したお金（貸付金）	2万5千円	2万5千円	0円
合計	523万円	411万3千円	-111万7千円
ローンの残高（地方債残高）	571万円	567万5千円	-3万5千円

平成17年に結婚（合併）した南越前家。結婚してから4年が経とうとしています。19年度の家計簿がまとまり、18年度と比べながら家族で会話をしています。19年度はどのような家計の状況だったのでしょうか…

豊…19年度はお給料（地方税・地方交付税等）が少し増えてるわね。

愛子…そうだね、特別手当（市町村民税の税源移譲など）があったから増えたんだよ。

豊…そういえば、18年度は家の増改築（今庄小学校や河野小学校、河野診療所の改築などの普通建設事業）に費用がかかったから、その分ローンの借入（町債）も多かったのよね。それにおばあちゃんが年金（国県補助金）を足してくれたわ。

愛子…そうだね、19年度は増改築費が減ったからローンの借入（町債）も減ったよなあ。でも結婚当初のローンの返済（公債費）が始まったりで、その分の支出が増えてきたけどね。

豊…わが家は給料が入ってきて、ほとんどが食費や日用品費、光熱水費や電話代、医療費やローンの返済、県外の大学へ行っている蓮への仕送りといった決まった出費（人件費、物件費、扶助費、公債費、繰出金といった経常的な経費）に充てられちゃって、なかなか余裕が出てこないのが悩みだわ。19年度は少し預金（財政調整基金への積立）ができたけど…

愛子…うん。家計も切り詰めてなんとか人並みに貯金はできたけど、景気も悪くなってきたし、20年度は給料もかなり減りそうだな。

愛子…入ってくるお金は決まっているのだから無駄遣いせずに節約していかなくちゃ。それに子どもたちに借金ばかり残さないようにしなくてははいけないわね。